

平成 23 年度事業計画 平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

新公益法人制度への移行を控え、当財団の事業で認可されている 8 つの事業について、各事業の精査を行いながら、本年度は更なる支援活動を展開していきたい。

従来実施してきた事業の他、調査・研究活動においては、専門有識者による 2 ヶ年の調査研究・検討を行ってきた教育プログラムの成果を定期学習会及び季節講習会等の場で実践し、効果測定及びプログラム向上へと発展させていくこととする。またその学習会のための講師研修会を行い、全国へ普及させていくことを目指す。

家庭や地域の教育の回復という観点から、親が安心して子育てや家庭教育を行える支援として、子育て支援の講演会等の開催、医師、臨床心理士等による相談事業を通じて適切な支援活動を行っていく。23 年度の事業計画は、以下の通りである。

1. 子どもの教育に関する講演会、学習会、講座の開催

(1) 子どもの育成発達の根幹をなす家庭教育の在り方や、教育向上を図るため、学校・家庭・地域社会と連携し、保護者・教育関係者を対象としたシンポジウム等を開催する。

① 「不登校中学生のための高校進路説明会・相談会」(独法福祉医療機構助成金対象事業予定)

- ・実施期間：8 月、10 月
- ・実施場所：首都圏、関西圏
- ・実施回数及び参加予定数：2 回、各 200 名

② 「学校復帰支援シンポジウム-こどもたちの心に響く働きかけ-

(独法福祉医療機構助成金対象事業予定)

- ・実施期間：8 月～3 月
- ・実施場所：全国 13 都道府県
北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、
京都府、大阪府、兵庫県、広島県、鹿児島県
- ・実施回数及び参加予定数：35 回、2,100 名

③ 「子育て支援のための講演会」

- ・実施期間：4 月～3 月
- ・実施場所：東京都
- ・実施回数：6 回、180 名

(2) 子ども達が自然に対する畏敬の念や環境を守る意識や態度を育むことを目的とした環境教育ポスターコンクールを開催する。

① 第 3 回全国環境教育ポスターコンクール

- ・実施場所：首都圏、関西圏、中四国圏他
- ・実施期間：4月～3月
- ・実施計画：小・中・高校への募集要項配布（5月～7月）、募集期間（9月）、審査（10月）、表彰式（11月）、巡回展示（11月～3月）

②富良野自然体験ツアー（第2回全国環境教育ポスターコンクール最優秀賞副賞）

- ・実施場所：北海道
- ・実施期間：7月～8月
- ・対象者：最優秀賞受賞者

(3) 愛媛県内の国際理解教育推進のため、愛媛女子短期大学と共催で、国際交流作文コンクールを行う。

- ・実施場所：愛媛女子短期大学
- ・実施期間：5月～1月
- ・実施計画：小・中への募集要項配布（7月）、募集期間（10月）、審査（11月）、表彰式（1月）

(4) 次世代育成メソッドを活用した5歳から9歳の学びを応援する「まなびのアトリエ」学習会及び季節講習会を開催する。（第2項（1）と連携）

- ・実施場所：首都圏、関西圏
- ・実施期間：7月～3月
- ・実施計画：定期学習会、夏期講習、冬期講習、春期講習会

(5) 上記（3）「まなびのアトリエ」学習会の開催にあたり、講師研修会を行う。

- ・実施場所：次世代育成センター会議室、神戸事務局会議室
- ・実施期間：4月～3月

(6) 子どもに対する教育学習支援活動を一層充実させるため、学習教育の現場で乳幼児・児童・生徒の指導に関わる教員等への研修・資格制度の拡充を図るとともに、研修対象者を広範囲にするため地方自治体、学校関係者等の情報も取り入れ、積極的な外部展開（教職大学院との連携等）を行う。

また、高校生を対象としたコミュニケーション能力の開発・向上のための研修を行う。

①学習心理支援カウンセラー

- ・実施場所：全国2箇所（東京都、兵庫県）
- ・内容：指導・スキル等に関わる入門・基礎・専門の各課程研修

- ・対象者 : 入門課程 (大学生・大学院生) 50 名、基礎課程 (教職員等) 150 名、
専門課程 (教員) 20 名

②ピアアシスタント

- ・実施場所 : 全国 13 都道府県、13 箇所
北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、
愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県、鹿児島県
- ・内容 : コミュニケーション能力の向上等に関わる基礎・専門の各研修
- ・対象者 : 基礎 500 名、専門 120 名

③乳幼児ケアヘルパー、幼児英語インストラクター、キッズスポーツリーダー、子育て支援プロジェクトリーダー

- ・実施場所 : 愛媛県、兵庫県、岡山県
- ・内容 : 乳幼児の健全な育成に関する効果的・実証的な開発カリキュラムに基づく指導者育成研修 (講義、実習、試験)
- ・対象者 : 乳幼児ケアヘルパー40 名、幼児インストラクター20 名、キッズスポーツリーダー20 名、子育て支援プロジェクトリーダー10 名

(7) 通信制等の課程に在学する生徒の負担軽減、教育機会の拡充、学習の効率化等を図るため学校教育法に規定する技能教育施設 (クラーク高等学院) 等を運営し、これらの施設で学ぶ生徒の教育学習の向上・社会的対応能力の修得への支援活動を行う。

- ・実施場所 : 全国 7 県 8 箇所
埼玉県、千葉県、静岡県、岐阜県、兵庫県、広島県、鹿児島県
- ・実施内容 : 学力、精神、体力、コミュニケーション力修得・向上を図り、高等学校単位取得・卒業への支援を行う。

2.調査・研究活動

- (1) 「次世代育成センター」を設置し、9 歳までの子どもの発達段階に応じ、「こころ・からだ・あたま」をバランスよく育む教育プログラム (メソッド) の開発、教材作成を行う。そのプログラムを定期学習会等の実践現場で行い、効果測定を図りよりよいカリキュラムへ向上させる。また、この教育プログラムを子ども達へ指導するための講師研修を行い、全国へ普及推進を目指す。

次世代育成メソッドのカリキュラムの特色 : ことば、算数、理科、アート (造形、食育、身体表現) の 4 領域を連携・協働させる新しいカリキュラム

- ・センター場所：東京都中央区八重洲 2-2-1 ダイヤ八重洲口ビル B1F
- ・研究員：国語、算数、理科、体育（身体表現含む）、発達心理学、医学、ライフサイエンス、エデュトイ・メディア開発等の専門有識者

3. 自然体験活動、社会奉仕体験活動その他の体験活動の場の提供

- (1) 児童・生徒及びその保護者を対象に野外活動施設を利用し、自然環境に親しむ中でのキャンプその他の体験プログラムを実施し、子どもたちの学校復帰への第一歩となるコミュニケーション力の向上や自主性を育み、社会適応力などの育成支援を行う。

- ・実施場所：全国 14 都道府県
北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、鹿児島県

- ①春：海岸清掃、稲作、畑作
- ②夏：キャンプ、野外バーベキュー
- ③秋：収穫、調理、ハイキング、体育祭、文化祭
- ④冬：初詣、スキー

年度中、各種課外活動 美術館・博物館見学、自然体験、職業体験、卒業旅行等

- (2) 自然体験キャンプ活動を通じ、子どもたちの学校復帰への第一歩となるコミュニケーション力の向上や自主性を育み、社会適応力などの育成支援を図るとともに、その効果を調査分析し、成果の普及を図る。
(子どもゆめ基金助成金事業予定)

- ①「夏休み親子宿泊体験キャンプ-不登校改善事業-」
- ②「いきいき夏休み自然体験親子合宿キャンプ事業 2011-不登校改善事業-」

- ・調査実施月 : 8月
- ・実施場所 : ①神戸市野外活動センター
②埼玉県青少年総合野外活動センター
- ・調査分析 : 事務局、①関西（京都府、大阪府、兵庫県）
②関東（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）
- ・参加児童生徒 : ①29名、②88名（保護者を含む）

4. 子どもの教育に関する相談事業の実施

子どもの教育に関して保護者が直面している問題、子ども達の悩みなどのカウンセリングを行うための個別教育相談会及びグループ相談会を適時開催する。

- (1) 医師、臨床心理士、学校心理士等による支援活動（独法福祉医療機構助成金対象事業予定）

- ・実施場所：全国 8 都道府県
千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県

(2) 財団ディレクター、こども教育支援財団研究員等による支援活動

・実施場所：全国 14 都道府県

北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、
愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、鹿児島県

5. 不登校児童・生徒及び保護者に対する学校復帰支援

不登校の悩みを抱える児童・生徒を対象とした学習・心理ケア・社会スキル等に関わる直接的な学校復帰支援活動の場として「元気の泉」の運営強化を図る。特に学習面の一層の支援強化を図る。また、保護者に対しても「元気の泉」の積極的アピールの方策や活用メリットを認識してもらうよう努めるとともに、カウンセリングや学習会等を効率的に実施するなどして効果的な学校復帰支援活動を行う。これらの業務をより円滑に実施し、レベルの向上を図るため、前記第1項（6）等の研修の強化拡充を図る。

(1) 子どもの居場所としての「元気の泉」の運営強化については、全国展開を積極的に図るため設置場所を増やしていくことを計画する。

・対象者：不登校傾向にある小学生・中学生・高校生及び保護者 1,000 名

・実施場所：全国 13 都道府県

北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、
京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県

・内容：学習面の強化を図り、併せて精神力、体力、コミュニケーション力の向上を支援し、「学校復帰」の目標を達成させるものとする。

月～金曜日 10:00～17:00（基本ベース）、5 コース

(2) 不登校児童生徒へのかかわり方、段階に応じた対処の仕方、学習指導等をテーマにした会
「不登校支援の会」

・実施期間：5 月～3 月

・実施場所：全国 13 都道府県

北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、
京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県

・実施回数及び参加予定数：40 回、2,400 名

(3) 学校や行政に集積する不登校に関する情報を共有し、協働して不登校問題の解決への対応策を講じることを目指す研究会

「子どもの育ちを考える会」

- ・実施場所：兵庫県
- ・研究員：臨床心理士、不登校の課題解決に活躍している有識者、教育関係者

(4) 子どもへのかかわり、対処方法など親の会の役割を考える会
「親の会」

- ・対象者：会員の保護者、及び未会員・参加希望保護者
- ・実施場所：全国13都道府県
北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、
愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県
- ・実施回数：3ヶ月に1回程度（土曜日13:00～16:00）合計35回、その他適時

(5) 不登校児童生徒を対象とした支援から、その調査研究を行う。不登校改善・予防への効果的な支援を確立させるような研究成果の普及を図る。（独法福祉医療機構助成金対象事業予定）

- ・調査実施箇所：事務局、各分室「元気の泉」、不登校克服生の在籍校（協力依頼校）
東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、兵庫県、広島県等
- ・調査対象者：300名

6. 子どもの教育に関する国際交流

(1) 保護者等への国際教育に関する交流を企画し、海外の教育事情、自然、文化、歴史等に触れ、体験することで、より広い視野に立ち、自らの子ども達の教育育成に寄与できるような支援を行う。

- ・テーマ：ニュージーランド教育事情視察
- ・対象者：保護者・教員、数十名

7. 個人・団体への奨学金授与及び資金援助

(1) 子どもに関する教育・研究活動の充実、整備のための資金援助を行う。

援助対象：国内外の教育関係団体その他

(2) 各地域の子どもの健全育成活動に関わる団体、個人等への支援を行う。

(3) 高校生を対象としたニュージーランド教育文化交流会の支援を行う。

8. 定期刊行物の発行及び広報活動等の充実

(1) 子ども教育に関する今日的課題を積極的に取り上げて、当財団の機関紙（季刊等）を編集発行する。

・会報の定期発行

(2)財団の活動パンフレット及び事業案内を作成し、全国の教育委員会及び教育機関へ配布し、広報活動の連携を図る。

(3) ネット上のホームページ等を活用した業務紹介、申し込み事務等の受益者サービス事務の拡充等ネットを活用した広報その他の活動の充実を図る。

9. その他

(1) 新公益法人移行への申請作業を行う。